

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月25日 No.68

あと8日！目標達成へ全力をあげよう！

あらたに2県が2000年以後最高を突破！！

7月24日現在、山形、静岡、和歌山、鹿児島に続き、新たに石川、大分が2000年以後最大の代表派遣目標数を突破してきました。石川では、50周年国民平和行進で全自治体を歩くなど、積極的に取り組む中で成果を生み出しています。

大会直前学習交流会開催！

高知

高知県原水協は7月23日夜、高知市で「ノーモアヒロシマ・ナガサキ 核兵器のない



世界を一緒につくろう」と題して、学習交流集会を行いました。世界大会参加者を中心に10名が参加しました。

県原水協の松繁事務局長が、世界大会学習パンフレットを使って、世界の核兵器廃絶への流れや、NPTについて、被爆者の原爆症認定集団訴訟のたたかい、世界大会の意義について話をしました。

その後、自己紹介と大会への想いを語り交流しました。初めて世界大会参加する青年も多く、ある青年は「文字としては理解できるけれど、現実からは遠いことでピンとこない。世界大会に参加して何か感じられたらいい。」と話しました。

近年このような事前学習会は開催していませんでしたが、事前に参加者が顔を合わせられるいい機会になりました。

『通信』拡大キャンペーンに応え

国際会議出席

福岡

福岡県原水協の打ち出した、『『原水協通信』を30部拡大したら国際会議に1名様ご招待キャンペーン』に大牟田原水協の下川忠範理事長が応え34部拡大しました。

下川さんは、「世界大会直前ということや、この間原爆症認定集団訴訟に関心が高まっていることから、見本紙を送って電話で呼びかけた」と話します。語学堪能な息子さんと奥様の3人で国際会議から参加することになっています。

佛教大学の学生13人が広島へ

学内で原爆展も

京都



佛教大学社会福祉学部では、2005年の夏以降毎年、学生主体で原爆展を開催しています。今年も7月8日～10日、「No War! Know War! 語り継ぐ平和への想い」をテーマに開催され、被爆者、戦争体験者から話を聞きました。世界大会には、原爆展を取り組んだ学生を含めて、これまでに13人の学生が名乗りをあげています。

世界大会には、原爆展を取り組んだ学生を含めて、これまでに13人の学生が名乗りをあげています。

大会パンフも残す期間、普及・活用に全力を！